

今後の分娩先について

2025年10月以降

2025年10月以降 上五島病院の常勤産婦人科医が不在 上五島病院の分娩が休止

2025年10月以降
上五島病院に常勤する
産婦人科医師不在

産婦人科外来
月曜日：産科
木曜日：婦人科
長崎大学から
診療応援
(日帰り)

妊娠中、緊急時
(出血・破水など)
→他科の医師での
対応は困難

緊急時は、周産母子センターへ相談し、受診や搬送を行うなど対応します。

そのため、長崎県下の4つの周産母子センターから分娩先を選択していただきます。

長崎県の周産母子センター

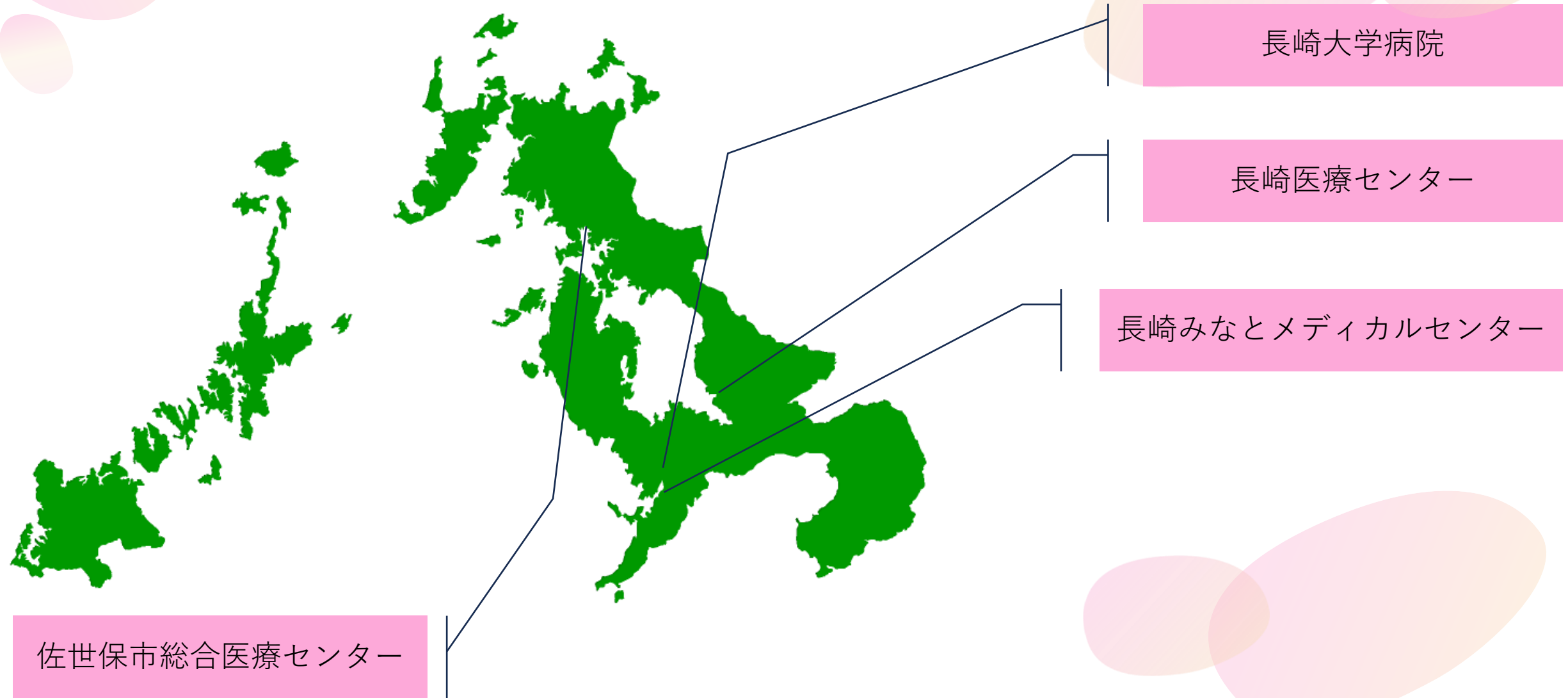
『長崎大学病院』

『長崎医療センター』

『長崎みなとメディカルセンター』

『佐世保市総合医療センター』

長崎県の周産母子センター





●長崎県における周産期医療では、一時施設の産婦人科と長崎大学病院や長崎みなとメディカルセンターのような周産母子センターが綿密に連携することで、安心安全な周産期医療を提供できるシステムがあります。

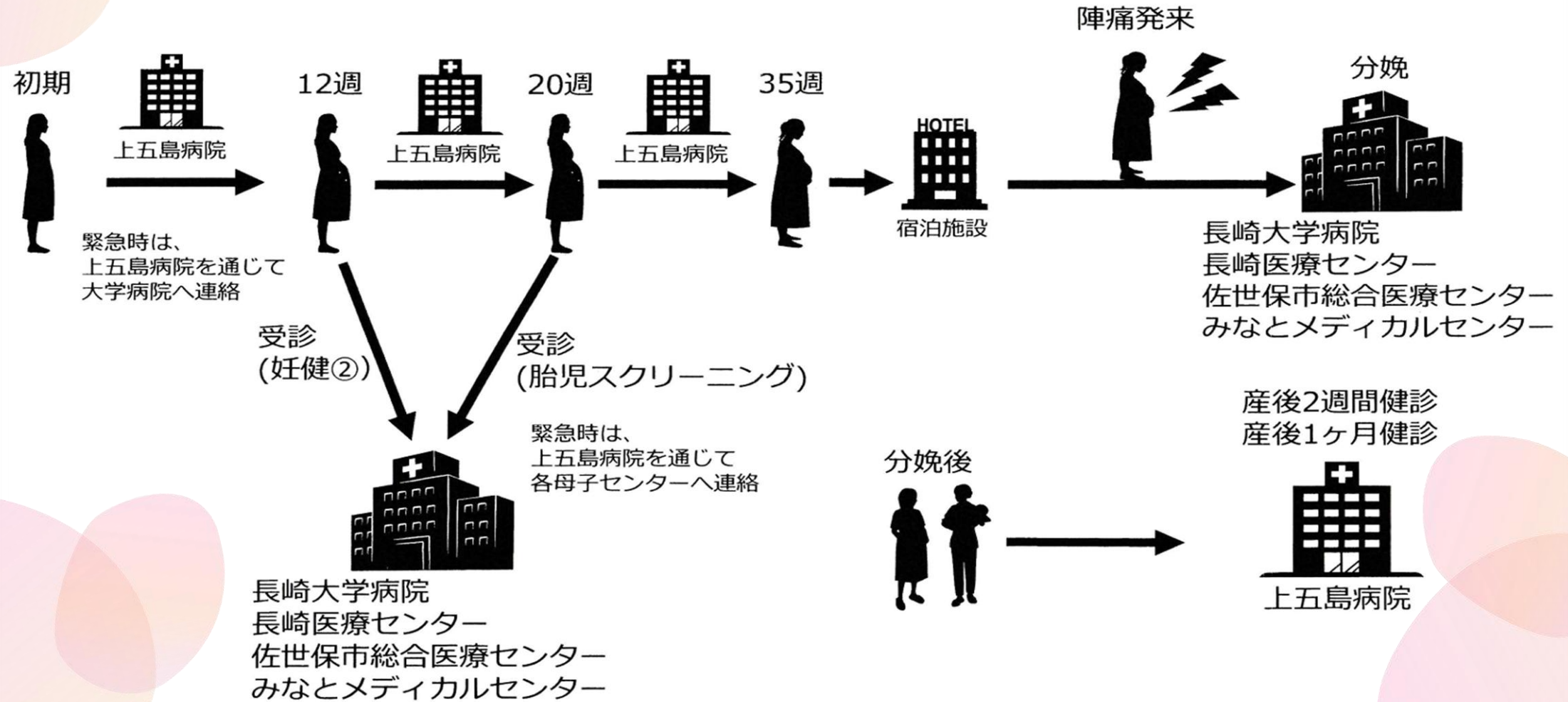
●妊娠のほとんどは正常に経過しますが、妊娠経過中に合併症などが発生(ハイリスク妊娠)したり、分娩中や産後に突然お母さんや赤ちゃんの容体が急変することがあります。

●2025年10月以降、上五島病院には、産婦人科医が常勤していないため、妊婦さんの状態が変化した場合に対応できないため、島に在住する妊婦さんをすべてハイリスク妊婦とし、急変時に高度な医療が受けられる周産母子センターへ繋ぐ必要があります。

上五島の小児科医の体制 入院設備

- ・ 10月から当院の小児科医が一人体制
→ 新生児入院症例の受け入れが、非常に困難な状況
→ 個人のクリニックなどで分娩した場合、新生児フォローが十分ではなく島に戻る可能性がある
- ・ 小児科医の医療体制が整った高次医療機関である 4 病院での分娩をお願いしたい

通常の妊婦健診の流れ



分娩施設の受診スケジュールと滞在について

※必須スケジュール ※妊娠経過により、分娩施設の受診回数が増えることもあります。

妊娠12週
妊婦健診②

分娩施設初診

妊娠20週
妊婦健診④

胎児スクリーニング

妊娠35週

本土に渡り、分娩施設周
辺へ移動し滞在する

『県内』に里帰りする予定の方

同様 4 施設から選定する

『県外』に里帰りする予定の方

※必須スケジュール ※妊娠経過により、病院の受診回数が増えることもあります。

妊娠12週
妊婦健診②

県内病院初診

妊娠20週
妊婦健診④

胎児スクリーニング

妊娠34
週

妊娠34週までに、
里帰り先へ移動する

分娩費用について（注意：あくまでも概算） + α （処置料・差額ベッド料金など）

	正常分娩（経腔分娩）		帝王切開分娩	
	時間内	時間外	時間内	時間外
長崎大学病院	650,000円程度	850,000円程度	550,000円程度	750,000円程度
長崎医療センター	580,000円程度	650,000円程度	250,000円程度	300,000円程度
長崎みなと メディカルセンター	500,000円程度	600,000円程度	300,000円程度	400,000円程度
佐世保市 総合医療センター	500,000円程度	600,000円程度	限度額により異なる	